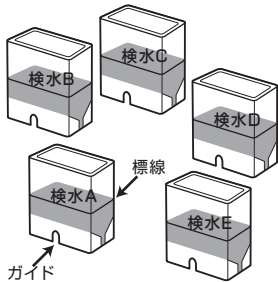


# 技術資料 グルコース 多検水連続測定

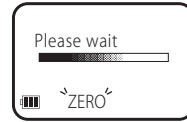
## 測り方 (例) 5検水の場合



① 検水A～Eを専用カップの標線(1.5mL)まで入れます。



② 長押しで電源を入れ、検水Aが入った専用カップのガイドが手前になるように測定部にセットします。



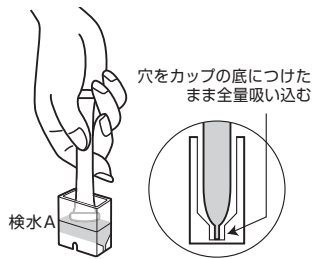
③ 0調ボタンを押します。ゼロ調整終了後、専用カップを取り出します。



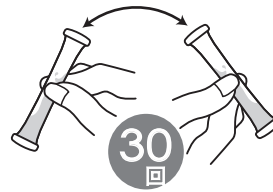
④ チューブ先端のラインを引き抜きます。



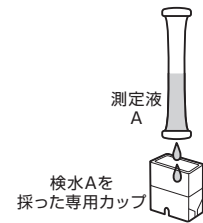
⑤ 穴を上にして、指でチューブの下半分を強くつまみ、中の空気を押し出します。



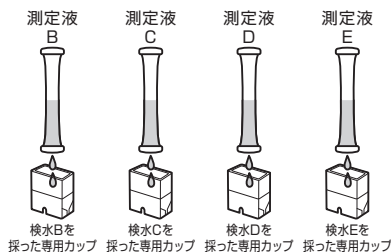
⑥ そのまま穴を検水の中に入れ、つまんだ指をゆるめ、専用カップの検水Aを全量吸い込みます。



⑦ 液がもれないようにからくく30回振り混ぜます。



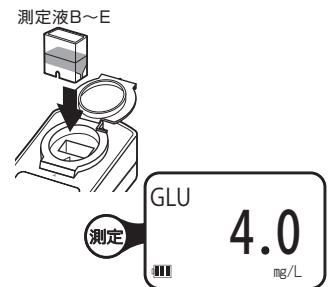
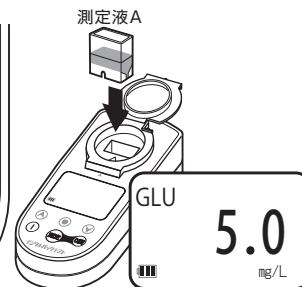
⑧ 検水Aを採った専用カップにチューブ内の測定液Aを静かに戻します。



⑨ 検水B～Eも同様に④～⑧を繰り返します。



⑩ 測定ボタンを押します。カウントダウンが始まります。測定液Aの入った専用カップを測定部に再びセットし、静置します。12分後に測定液Aの測定値が表示されます。



⑪ 測定液B～Eは、専用カップをセットし、測定ボタンを押すと、直ちに測定値が表示されます。

### 注意

1. 専用カップに水滴が残っていたり汚れていたりすると、測定誤差になりますので、使用後はよく洗い水滴を拭き取ってください。デジタルパケットには専用カップが5個付属していますが、多検水の場合や、洗っても汚れが落ちない時は、別売のパケット専用カップ(型式:WAK-CC10)をお求めください。 <https://kyoritsu-lab.co.jp/seihin/catalog/pdf/p5-10.pdf>
2. 検水の着色や濁りが強い場合はゼロ調整に差異が生じます。
3. デジタルパケット グルコースは、測定時間12分の経過以降は発色に変化がありませんので、この方法が適用できます。ただし、オートパワーオフが30分に設定されています。30分操作がないと、ゼロ調整からの操作になります。



株式会社 共立理化学研究所  
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11  
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666  
<https://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp